

事業所職員自己評価の集計結果（公表）

事業所名：吉田町立こども発達支援事業所 すみれ

公表日：令和4年3月24日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・定期通園の職員の配置は国の基準を上回る児童数2～3人に対して1人の職員を配置している。 ・並行通園児が多かった為、担当を4人にした。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ問題としてあがっている点は特にない。
業務改善	4	ケース会議に職員が参加し、日々の療育について評価や目標設定が行われているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・児発管が研修で学んだケース会議の進め方を実践して行ったことで、職員全員で活発に意見交換を行うことができた。
	5	保護者向けアンケートを行い、保護者の意向等を把握し業務改善に繋げているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・今年度アンケートを実施し、今後の業務改善に役立てていきたい。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・今年度末までに行う予定である。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中でも密にならないように気を付けながら研修会を行うことができた。 ・資質向上のため、研修に積極的に参加していきたい。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・作成前、保護者と面談を行い、保護者の思いを受け入れながら支援内容を考え、作成した。 ・職員同士子どもの様子を確認し合い、カンファレンスを行って意見交換をし、作成した。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・現在も行っているが、職員同士で確認や使用しやすいように検討している。
	11	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインで示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士で話したり、ケース会議で話し合ったり、助言等をもらっている。
	12	個別支援計画に沿った支援が行われているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿って、子どもに合わせた支援を行っている。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
適切な支援の提供	13	活動プログラムの立案をクラスの職員で行っているか	○			・話し合って決めることで計画を立てやすい。
	14	活動内容が固定化しないよう工夫しているか	○			・ある程度固定している活動もあるが、子ども一人ひとりの発達や様子に合わせて活動を提供している。
	15	子どもの状況に応じて、個別支援計画を作成しているか	○			・子どものあrawれを記録し、そこから支援計画を考え、作成している。
	16	毎朝職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・担当児の様子を伝え合いながら支援の内容を考え療育を行っている。 ・子どもの人数に変更があったり、活動内容を他クラスと相談したり打ち合わせを大切にしている。
	17	療育終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・1日の様子で気付いたこと等を伝え合い、共有し、今後の支援に生かしている。忙しい時は後日に振り返ることもあった。 ・毎日行えない時もあるが、出来る限り行っていきたい。
	18	日々の支援に関して日誌や記録を作成し、支援の検証・改善につなげているか	○			・日誌や記録を記入することで子ども一人ひとりの様子を把握できた。
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所（あおぞら）のサービス担当者会議にその子どもの担当職員、児童発達管理責任者が参加しているか			○	・新型コロナウイルスの感染状況により担当者会議は行われなかった。 ・セルフサービスの児が増えたため、担当者会議が行われなかった。
	20	保健センターやこども未来課、福祉課等、関係機関と連携した支援を行っているか	○			・関係機関と連携を取りながら円滑に支援が行えるように努めた。
	21	保育所、幼稚園等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・保育園へ移行する時、交流や体験を行い、情報共有を行って円滑に移行できるように努めている。幼稚園から事業所への移行の時は電話での情報共有となってしまうため、保育園と同様に交流や体験を行い丁寧に情報共有をしていきたい。
	22	小学校や特別支援学校との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・学校主催の会議に参加し、丁寧に情報共有をしている。新型コロナウイルスの影響で電話で対応することもあった。
	23	医療機関や関係機関と連携し、助言を受けているか	○			・直接的なやり取りはないが、必要に応じて紙面で情報提供を行っている。 ・言語リハビリ等の内容を保護者から聞き取り、活動に生かしている。
	24	保育所、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・交流の計画をたて何回か行ったが、新型コロナウイルスの感染状況により中止をすることが多かった。
	25	関係機関との連携会議へ積極的に参加しているか	○			・連携会議に参加している。

	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送迎時、子どもの様子を伝え合っている。必要に応じて面談を設けている。
--	----	-------------------------------------------------	---	--	--	-------------------------------------

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に説明をしている。
	28	保護者には個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から計画内容について同意を得ているか	○			・面談を設け、保護者へわかりやすく説明し、同意を得ている。
	29	保護者会の活動や保護者同士の連携を支援しているか	○			・新型コロナウイルスの影響で保護者会と活動内容を検討できる範囲で行った(環境整備、座談会等)。就学に向けてOBの話を聞く機会を設け貴重なお話を聞くことができた。
	30	園だよりを発行し、毎月の予定や必要な情報を保護者に対して発信しているか	○			・毎月園だよりと月の予定、クラスだよりを配布している。
	31	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	32	地元の方々と交流する機会を設けているか		○		・散歩先等地域の方々と挨拶をしているが、地域の方との交流が少ない為今後検討していきたい。
非常時等の対応	33	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・毎月避難訓練、不審者対策訓練を行っている。また、消防署と合同の避難訓練を行っている。
	34	事前に、服薬、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			・てんかん発作を起こす危険性のある子ども専用の日誌を作成し、毎日記録している。発作時の役割担当の確認をしている。
	35	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・並行、親子通園で該当児がいたため、必ずおやつのパッケージの成分表を確認した。
	36	ヒヤリハットマップを作成して事業所内で共有しているか	○			・職員室にヒヤリハットマップを掲示しているが、職員間で確認が足りない為年度初めに確認をし共有する必要がある。
	37	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・今年度研修に参加した。
	38	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		・身体拘束に該当することは今のところない。